※ほけんだより

今年は多い…?チャドクガの応急処置は



尚徳福祉会 とちょう保育園 看護師

今年の秋も蚊の活動が活発なため、お散歩に備えての**登園前の虫よけ対策**を引き続きお願いいたします。急速に空気も乾燥していきますので、朝夕の保湿でお肌のバリアをしっかりと保っていきたいですね。

参考画像閲覧ご注意→

注意 ①優しくすすぎ洗い後、ティッシュでこすらず軽く当て水分をとる ②患部に粘着テープを貼り毒針毛をはがす③数回繰り返し薬を塗布か受診 ↑ばんそうこう等がベター。服を脱がす際にも毒針毛を飛散させないように…

! インフルエンザ予防接種開始のシーズンです

インフルエンザは、小さいお子さんには重症化や合併症のリスクがある感染症です。ご家族全員で接種予約をしておくと安心です。 職員も流行に備え、毎年ワクチン接種を行っております。

予防接種表の確認をお願いします

個人面談日に連絡帳にはさみます。 接種済のものがあればご記入の上、 連絡帳にはさんでご提出ください。

楽しい。「ハロワインですが、お菓子の誤嚥にはご注意。ベビー用のおやつでも事故は起こっています。(東京くらしWEBに詳細事例あり)

目薬のさし方

(好きなおもちゃなどで気をまざらわして、サッと短時間で…)

- ①目のまわりをぬらしたガーゼ等できれいにする
- ②仰向けにして、両膝で頭を左右 からはさみ、利き手でない手で あごを押さえる
- ③目頭に 1~2 滴落とす。閉じていても OK。反応でまばたきをする間に入ります。
- *授乳中、熟睡中に下まぶたを
 < 引いてさす方法もありです

健診で検査ができなかったり、 要精密検査と言われたら、必ず 眼科を受診してください。

小さな子どもは「見る力」も育ち盛り

インフルエンザは発症後5日経過かつ、解熱後3日経過までは欠席です

視力は、生後3か月頃から急速に発達し、3歳半までに多くの子どもが大人とほぼ 同じ程度まで見えるようになり、8歳頃に完成します。

生まれてすぐ 視力 0.01



明るい暗い程度の認識。

祖力 0.2~0.3



視覚が急速に発達し、1歳半 までが視力発達のピークです。

3歳 視力0.8~1.0





大人とほぼ同じくらい まで視覚が育ちます。

早く治療するほど回復しやすい!

こんなサインに注意…



1:1

目を細める



横目で見る

視力は、目から情報を取り入れ脳で処理することを繰り返し育ちます。目に異常があると脳に情報が届かず、視力が育ちません。また幼児期の近視は大人より進行が早く、将来の眼病のリスクがアップします。気になるサインがあれば早めに眼科を受診しましょう。

片目をつぶって見る



片目の目が内側や 外側に寄る

気になったら写真を撮りためて受診を

- ①目元に寄せて
- ②フラッシュをたいて

撮影することが、視能訓練士さんおすすめ の方法です。

教育のITC 化によって、子どもの視環境が大きく変化しています。幼少期から…

- •屋外活動時間を確保することが有効(熱中症、紫外線対策をして)
- ・近くを見るときは30cm以上離す習慣(近視対策アプリやライト等活用)
- ・使用時間を管理し、なるべく大きい画面で、休憩時間を設ける習慣を



身体測定 〇歳児健診